



新潟県立新潟中央高等学校

新潟中央高等学校の生徒会活動と部活動の紹介をします。

1 生徒会の紹介

【令和3年度 主な生徒会行事予定】

- 4月 入学式、対面式、新入生歓迎会・クラブ紹介、前期各種委員会・評議員会、生徒総会、壮行式、前期 HR 役員認証式、部活動登録
- 5月 生徒総会、生徒朝会、生徒会執行部後期役員選挙、中央祭選手選出・準備、
- 6月 中央祭オリエンテーション、中央祭予行、中央祭（体育祭）、生徒朝会（生徒会執行部後期役員認証式）
- 7月 秋桜祭クラス討議、壮行式
- 8月 壮行式
- 9月 秋桜祭クラス活動、秋桜祭準備、秋桜祭（文化祭）
- 10月 芸術鑑賞会（講演会）
- 11月 生徒朝会、生徒会執行部前期役員選挙
- 12月 壮行式
- 1月 豆まき大会
- 2月 生徒朝会
- 3月 球技大会、生徒会誌記念樹発行



「生徒朝会」



生徒会誌「記念樹」

生徒会長からのメッセージ 協力：生徒会副会長

校門から、通称「乙女坂」という坂を登った先にあるのは、歴史を感じさせる校舎。それが私の通う新潟中央高校です。

私は新潟中央高校に入学して、すぐに生徒会執行部に入りました。執行部では忙しいことや、辛いこともあります。活動をとおして多くのことを経験し、学ぶことができます。また、執行部の主な仕事の一つに学校行事の運営があります。

新潟中央高校には特色ある学校行事がいくつかあります。その中でも特に大きな行事が体育祭である「中央祭」です。中央祭は生徒だけでなく、保護者、地域の方々も楽しみにしてくださっている行事です。連合が一つになって行うスタンド応援に、テーマに合わせて一から作り上げられた、見る人を魅了するグラウンド応援、細部まで工夫が凝らされた衣装、生徒たちによって描かれる迫力あるパネルなど、沢山の見所があります。

また、「秋桜祭（しゅうおうさい）」という名の文化祭では、クラスや部活動による楽しい展示や発表があります。食物科によるマドレーヌ販売や音楽科による演奏など、その盛り上がりはまるでライブ会場にいるかのように熱気に満ち溢れています。他にも豆まき大会や球技大会など面白い生徒会行事が沢山あります。

また、新潟中央高校は部活動も盛んに行われています。13の運動部、24の文化部の計37の部活動があり、その中でもバスケットボール、ダンス、バレーボール、登山、剣道、コーラス、器楽・管弦楽、箏曲、鈴かけ新聞、演劇、地学、生物などの部活動は、全国大会や北信越大会に出場して活躍しています。

このように新潟中央高校には沢山の魅力があります。この学校に入学して私は多くの友人ができ、自分の進路目標達成の達成を目指して、とても充実した日々を送っています。

2 部活動の紹介

【部活動の活動状況】※

文化部 24、運動部 13 の部活動があり、加入率は 7 割以上です。

令和元年度は、地学部、・生物部、器楽・管弦楽部、箏曲部、鈴かけ新聞部、カメラ部の 6 団体が全国高文祭佐賀大会に出場しました。また、コーラス部は全日本合唱コンクール関東支部大会部門 B で銅賞を獲得しました。

運動部では、バスケットボール部が県総合体育大会ベスト 4。剣道部が県総体女子団体で 3 位、北信越大会へ出場、そして水泳部、バドミントン部が全国大会、陸上競技部が北信越大会出場を果たしました。ダンス部は、全日本高校・大学ダンスフェスティバル入選の他、各種大会やイベントに出演しました。



「本校の制服」

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各種大会等が中止となったため、参考として令和元年度の大会成績等を掲載しました。

【鈴かけ新聞部による本校の特徴】



みなさん初めまして！新潟中央高校鈴かけ新聞部です！
今回は、本校の特徴について、私たちの経験談などもまじえつつ、
紹介します。

※写真については、令和元年度以前のものが含まれています。

〈中央祭〉

本校で最も盛り上がるイベントといえば、「中央祭（体育祭）」。毎年 6 月中旬に行われ、3,000 人以上の観客が訪れます。競技はもちろん、学科の垣根を超えた総勢約 220 人の各連合がパネルを背景に栈敷の上で歌って踊るスタンド応援などが見どころです。

そのなかでもグラウンド応援は、グラウンドがまるで一つの劇場ようになるため、毎年観客を魅了しています。

また、衣装は幹部にとどまらず一般生徒も凝ったものばかりで、その場をさらに華やかにします。しかし、衣装は全て手作りのため苦勞する生徒も多いのだとか。家族と協力して制作するなど工夫が必要です。

各連合での応援練習は、始業前から下校前まで行うためハードです。そして、中央祭の採点方法には本番 2 週間前から減点制が用いられています。中央祭関連の書類の締め切り、教室の整理整頓等の多数の項目によって減点されるため、本校の体育祭は 2 週間前から熱戦が繰り広げられます。



令和 2 年度は、新型コロナウイルスの影響で中央祭は中止となりました。中央生は 3 年生の中央祭でダンスの振り付けをするために体育の授業で大人数での隊形移動を学んだり、音源の編集の仕方を学んだりします。今年度は 3 年生しか経験していない中央祭となります。中央生自慢の中央祭の伝統を残すためにも、今年度の中央祭が楽しみです。

＜秋桜祭＞

9月に行われる秋桜祭（文化祭）は我が校自慢の文化祭であり、伝統的な行事の一つで、毎年多くの来場者が集まります。

クラスごとに劇などのステージ発表やクラス展示を行い、最優秀・優秀賞を決めますが、どのクラスの発表や展示も熱いエネルギーが感じられます。ステージ発表では各々がペンライトを持ち込み、拍手や声援でその場の雰囲気さをさらに盛り上げます。



秋桜祭を盛り上げるのは生徒だけではありません。年によっては、先生方で結成されたバンドも参加します。そうなんです、青春をしているのは生徒だけではないのです！

また、毎年開催される部活動の出し物は見ものです。書道部の中庭での力強い書道パフォーマンス、地学部の地学室での部員解説付きのプラネタリウム、茶道部の礼法室での中央茶会など、観客を楽しませるプログラムがとても充実しています。

さらに、食物科の3年生はマドレーヌやパウンドケーキなどの手作りの焼き菓子販売を行います。普段はめったに口にすることのできない食物科の生徒の焼き菓子目当てに、販売の30分前から長蛇の列ができ、すぐに完売するほどの人気であることから「幻のマドレーヌ」と呼ばれています。



令和2年度の秋桜祭は、中央祭と同様に例年通りの開催は中止されました。しかし、一部の部活動の発表が1週間にかけて行われ、大成功で幕を閉じました。来年度の開催を願い、私たちも楽しみにしています。

＜スキー授業＞



本校伝統の体育の授業といえばスキー授業。本校では1月に1年生全員が上越国際スキー場等に2泊3日でスキー合宿に行きます。

まず驚くのは、事前の体育の授業で、体育館でスキー板を履いて練習することです。スキー靴の履き方、ゲレンデで転んだ時の立ち上がり方などスキーの基本の基本を学んでから実際にスキー場に行くのです。

スキー合宿と聞くと、スキーをしたことがない人は不安に思うこともあるかもしれません。しかし、ほぼ毎年、1年生の大多数がスキー初心者なのです。そんななかでも、最終日にはみんなが楽しくスキーをすることができます。スキーを滑るだけでなく、ホテル前で雪だるまを作ったり、勉強をしたりと各々が楽しい時間を過ごします。普段の学校生活ではクラス内、学科内でのみの交流がほとんどですが、合宿中はクラス、学科の垣根を超えてお互いを助け合う場面が多いため、他クラス、他学科との交流も盛んになります。

コロナ禍でもあり、令和2年度の1年生はスキー授業に行くことができませんでしたが、今年度こそ楽しくスキーをする中央生の姿が見られるかもしれません。雪国新潟ならではの貴重な授業であるので、スキーをしたことのない人にとっても高校生活最高の思い出の一つになるでしょう。

<靴について>

本校は校内土足OKという珍しい学校です。その始まりは第15代山宮作一校長先生のアメリカ視察だったそうです。アメリカでは校内土足が慣習であることに衝撃を受けた校長先生は、当時、本校は生徒数が増え、下駄箱を並べる場所を確保できずにいた解決策としても、中央高校は校内土足OKになったといわれています。

しかし、土足であるがゆえに困ったことも。内履きのまま気が付いたら白山駅…。そんな恥ずかしい失敗を経験した生徒も少なくないのだとか。これを読んだ皆さんは、外履きに履き替えたかをきちんと確認して帰ることが大切です。

<テストについて>

本校の主なテストは、SHR時に行う学習到達度確認問題・定期考査・模擬試験・授業内の小テストなどがあります。不合格の場合、不合格課題の提出や昼休みや放課後に補習があるので全力で取り組むことが大切です。私たち鈴かけ新聞部員も放課後の古典の小テストの追試に苦しめられた(?)経験が数えられない程…。もしも勉強方法が分からない時には教科担任の先生や担任の先生に相談してみるのはどうでしょうか。きっと理解が深まる勉強方法を教えてくださいます。通学時間などの隙間時間を利用して勉強時間を確保してみるのはいかがでしょうか。定期考査はじめ、小テストとも上手く付き合い、活用しながら高校生活を楽しんでほしいです。

<部活動について>

本校には、13の運動部と24の文化部があり、多くの部活動が華々しい成績を残しています。1年生は部活動への参加が必須となっているため、全員が何かしらの部に入部しなければなりません。部活動には参加したくない、入りたい部がない、と思っている人もいるかもしれませんが、それぞれの考えに合う部が必ず見つかりますから大丈夫です。なぜなら、大会で上位を目指す部はもちろん存在しますが、みんなで楽しむことを主眼としている部も存在しているからです。入学して間もなく新入生歓迎会があり、そこで各部が活動紹介を行います。その後、一週間部活動見学で好きな部活を見に行くことができます。ぜひ、1年生には自分にあった部活を見つけてほしいです。



いかがでしたでしょうか。読んでくださったみなさんに、本校の魅力が伝わっていれば幸いです。以上、鈴かけ新聞部でした！